

様式 A-1
(FY2022)

2023年1月14日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 埼玉県立川越女子高等学校 榎崎純一
2. 講師氏名: Dr. K.K.L.B. ADIKARAM
3. 講義補助者氏名: (なし)
4. 実施日時: 2023年1月12日(木) 10:05 ~ 12:30
5. 参加生徒: 2年生 37人、__年生 __人、__年生 __人 (合計 37人)
備考: SSH(スーパーサイエンスハイスクール)クラスの生徒
6. 講義題目: 高密度データ可視化アルゴリズムの産業機械の異常検知への応用
7. 講義概要: 講師の母国であるスリランカでの日本のイメージ、講師の家族について、経歴、プログラミングに必要な基本、論理的に考えるとはどういうことか? 簡単な操作をフローチャートの形に書く演習、Arduino を用いたコンピュータを用いてプログラムで LED の点滅を制御する演示実験、質疑応答
8. 講義形式:
 対面
 - 1) 講義時間 90分 質疑応答時間 40分
 - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講義、プログラミングの基本となるフローチャートを書く演習、Arduino を用いたコンピュータを用いてプログラムで LED の点滅を制御する演示実験
 - 3) 事前学習
 有
使用教材 講師から提示された課題をプリントにして事前に配布し、考えさせた
9. その他特筆すべき事項: